

D-station 10シリーズ

電話機の使いかた



技術基準適合認証品

このたびは、「D-station 10 シリーズ」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書には当製品を安全に使用していただく為の重要な情報が記載されています。
本説明書は、実際に電話機を使っていただく方を対象に書かれています。

当製品を使用する前にこの取扱説明書をよく読み、理解した上で、お使いください。

また、説明書は当製品の使用中、いつでも参照できるように大切に保管してください。

富士通は、使用者および周囲の方に人身損害や経済的損害を与えないために細心の注意を払っています。本説明書にしたがって当製品を使用してください。

FUJITSU

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。（注）

（注）D-station 12BC は、電波を使用しているため該当しません。

- この電話機システムは日本国内用に設計されています。電圧、電話交換方式の異なる海外ではご利用できません。

This telephone system is designed for use in JAPAN only and cannot be used in any other country.

- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音、通話料金管理、FAX 通信、データ通信、その他のサービスの利用ができなかったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきまして万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社窓口等へお申しつけください。
- 製品の改良のため仕様やデザインの一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

● 付属品一覧表

本製品には以下の付属品が添付されています。

付属品が全て入っているか確認してください。

品 名	数量	備 考
電話機の使いかた	1 冊	
カラーシート 注 1	2 枚	E-200系用 1 枚 注 2 ES3300系用 1 枚
キー表示シール	1 枚	
電話機コード	1 本	
モジュラローゼット	1 個	
内線番号表示ラベル	1 式	D-station 12BCのみ添付
電池パック	1 個	D-station 12BCのみ添付

注 1 : D-station13DのみES3300系用 1 枚添付。

注 2 : E-200系用 ~E-200シリーズISS全機種、E-210、
E-100シリーズISS全機種、DHシリーズ
ES3300系用 ~ES3300 i-force全機種、E-3200シリーズISS全機種、
E-350、E-3100シリーズISS全機種、
E-3900シリーズCCS全機種、E-390

● 本書について

本書には、当製品を安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。当製品を使用する前に、本書を熟読してください。特に本書に記載されている「安全上の注意事項」をよく読み、理解された上で当製品を使用してください。また、本書は大切に保管してください。

ここでは主な電話機の使いかたの一部をご説明しております。フリーアサインボタン数、ディスプレイ表示内容等は、機種により異なりますので詳しくはE-200系用／ES3300系用に添付されている取扱説明書をご覧ください。

● 警告表示について

本書では、お客様の身体や財産に損害を与えないために、以下の警告表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険

「△危険」とは、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うような切迫した危険があることを示しています。

⚠ 警告

「△警告」とは、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ることを示しています。

⚠ 注意

「△注意」とは、正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の傷害を負うことがあり得ること、当該製品自身、またはその他の使用者などの財産に、損害が生じる危険性があることを示しています。

●安全上の注意事項

電話機について以下の注意事項をお守りください。

尚、以下の使用条件を厳守しなかった場合、お客様および周囲の方の身体や財産等、また、環境破壊による第三者の身体や財産等に予期しない損害を生じる恐れがあります。

 **危険**

(1) 使用方法について

使用上の注意

本電話機に使用する電池パック、ACアダプタは、指定したものを使用してください。指定品以外のものを使用すると、電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。

電池パック (FC770BP1)

AC アダプタ (FC770AC1)

 **警告**

(1) 使用方法について

予想される誤った 使い方の注意

- ・ 電話機にお茶やコーヒーなどが入ったり、また濡らさないように、ご注意ください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 電話機の近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品等、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 電話機には、殺虫剤やヘアースプレー等がかからないようにしてください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 電話機の開口部から、内部にクリップやホッチキスの針等の異物を差し込んだりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 電話機をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。
- ・ 電子レンジや高圧容器に、電池パック、電話機本体やACアダプタを入れないでください。電池パックを漏液、発火、発熱、破裂させたり、電話機本体、ACアダプタの発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。
- ・ FC772BC 電話機は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しないでください。電子機器が誤作動したりするなど影響を与える可能性があります。

ご注意いただきたい電子機器の例：

補聴器、ペースメーカ、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器。

ペースメーカ、その他医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

分解・改造の禁止

- ・ 電話機を分解、改造しないでください。また、中古品をオーバーホールなどによって再生して使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

接続機器の注意

- ・ 接続コードには、本電話機以外の機器、また、改造された機器をつながないでください。火災、感電、故障の原因となります。

配線ケーブル類の注意

- ・ 接続コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 接続コードの上に重いものを乗せないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 接続コードを熱器具に近づけたり、燃えやすい物を置いたり、加熱させたりしないでください。コードの被覆が溶けて火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 接続コードは折り曲げたり、引っ張ったりしないでください。コードが傷つき、火災、感電、故障の原因となります。

(2) 保守・点検について

点検（保守者）の制限・禁止

- ・ 内部の点検・修理はお買い上げの販売店に依頼してください。ご自分で行うと、火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 万一、煙が出る、変なにおいがした場合には直ちに充電をやめ、電話機本体から電話機コード、ACアダプタを抜いて、煙がでなくなるのを確認して販売店等へご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

注意

(1) 使用方法について

使用環境の注意

- ・ 電話機を直射日光の当たる所に置かないでください。内部の温度が上が
り、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を極度に温度の高い所、低い所、温度変化の大きい所に置かない
でください。故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を浴室等の湿気の高い所に置かないでください。火災、感電、故
障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気の当たるような場所に置
かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機をホコリの多い所に設置しないでください。火災、感電、故障の
原因となることがあります。
- ・ 電話機をジュウタンやカーペットのような静電気の発生しやすい物の上
に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を硫黄ガスや車の排気ガス等、特殊ガスが当たる場所に置かない
でください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を海風が当たる場所に置かないでください。火災、感電、故障の
原因となることがあります。

使用上の注意

- ・ FC772BC電話機のアンテナの先端が目にはさらないようにご注意くだ
さい。万一、アンテナが目にはさってしまったときは失明のおそれがあり
ます。直ちに医師の治療を受けてください。
- ・ アンテナを持たないでください。雑音が増えたり、故障の原因となります。

予想される誤った 使い方の注意

- ・ 電話機の上に物を置いたり、周辺に倒れやすい物を置かないでくださ
い。けが、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を壁掛けにして使うときは、落下にご注意ください。けがの原因
となることがあります。
- ・ 電話機を振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れ
たりして、けがの原因となることがあります。
- ・ 電話機を通路に置かないでください。けがの原因になることがあります。

(2) 保守・点検について

点検・清掃につい て

- ・ 電話機に水滴がついたら乾いた布で拭き取ってください。放置すると火
災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機が汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン、シン
ナー等の有機溶剤は避けてください。電話機が腐食、溶解して火災、感
電、故障の原因となることがあります。

(3) 製品の廃棄

製品廃棄時の注意

- ・ 電話機を廃棄する時は、一般廃棄物として捨てないでください。廃棄時
は管轄の自治体（区市町村役場等）に連絡して、しかるべき業者に廃棄
を依頼してください。守らないと環境を破壊して、ご自身あるいは第三
者の身体や財産に損害を与える原因になることがあります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックは、誤った取り扱いをすると、爆発、発熱、破裂、液漏れ、発火の恐れがあります。必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。

電池パックのラベルに記載している表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Liイオン	リチウムイオン電池

 **危険**

(1) 使用方法について

使用上の注意

- ・ 電池パックが子機本体へ接続するときうまく接続出来ない場合は無理に接続しないでください。電池パックを漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。
- ・ 電池パック内部の液が目に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。失明などの原因となります。
- ・ 電池パックを火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所で使用、放置しないでください。電池パックを漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。
- ・ 電池パックの端子をショートさせないでください。電池パックを漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。
- ・ 端子を針金などの金属類で接続しないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- ・ 電池パックを火の中に投入しないでください。電池パックを発火、破裂させる原因となります。
- ・ 分解、改造をしないでください。また、直接ハンダ付けしないでください。電池パックを漏液、発火、破裂させる原因となります。

警告

(1) 使用方法について

使用上の注意

- ・ 電池パックの使用、充電中、保管時に異臭、発熱、変色、変形などいままでも異なるときは、子機を親機から取り外し、使用しないでください。そのまま使用すると、電池パックを漏液、発火、破裂させる原因となります。
- ・ 電池パック漏液したり、異臭がするときは、直ちに火気より遠ざけてください。漏液した溶解液に引火し、発火、破裂の原因となります。
- ・ 電池パック内部の液が皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚に障害をおこす原因となります。
- ・ 所定の充電時間を超えても充電が終了しない場合は、充電をやめてください。電池パックを発火、発熱、破裂させる原因となります。

注意

(1) 使用方法について

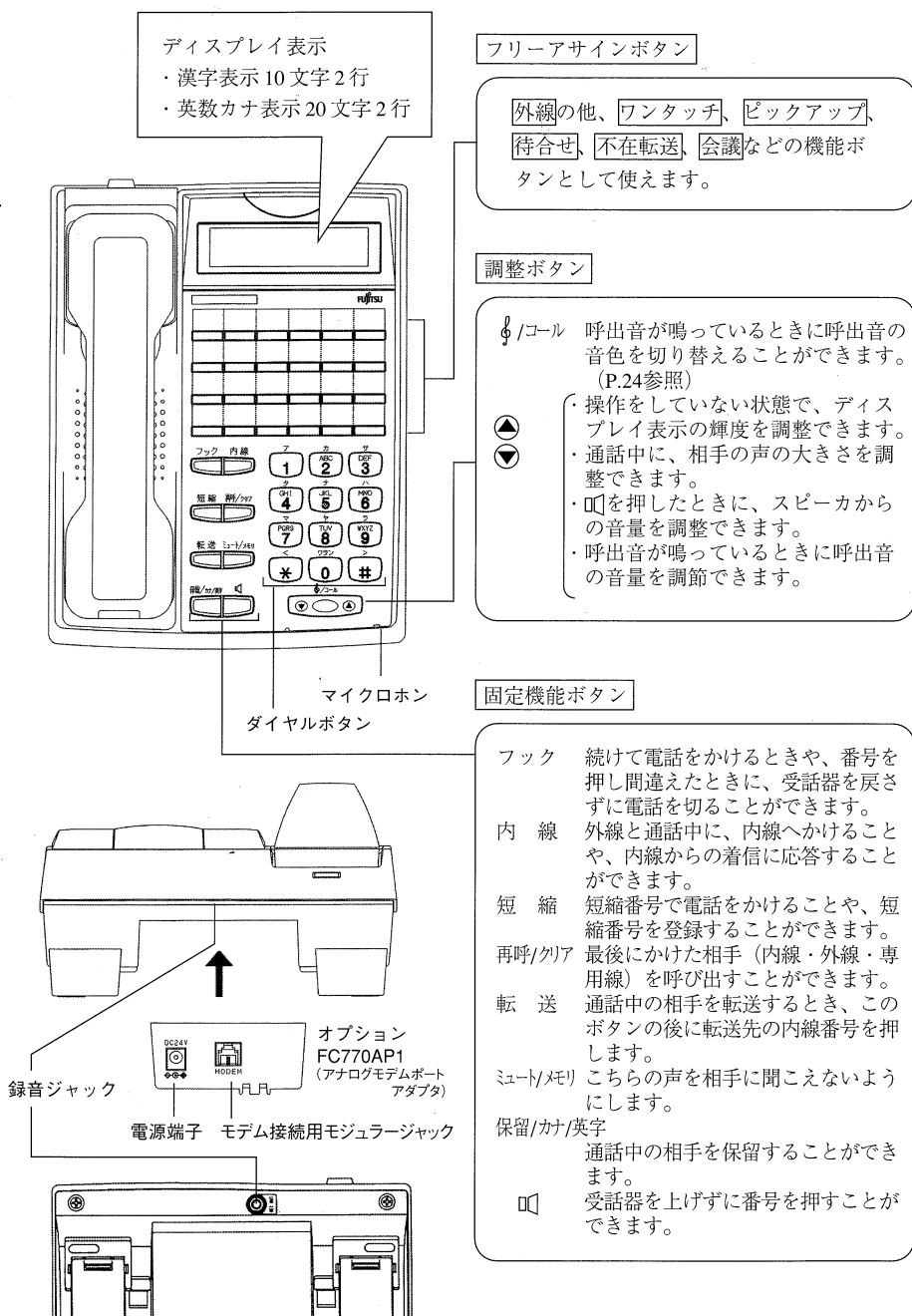
使用上の注意

- ・ 水、ペットの尿などで電池パックを濡らさないでください。電池パックを発熱、発煙させたり、サビの原因となります。
- ・ 電池パックを直射日光の強いところや炎天下の車などの高温の場所で使用、放置しないでください。電池パックの漏液、発熱や性能、寿命を低下させる原因となります。
- ・ 電池パックを使用しない場合は、子機本体からはずし、乾燥していて、温度の低いところに保管してください。また、長期間使用しない場合は、電池パックを全て使い切った状態で保管してください。
- ・ 不要になった電池パックを一般のごみと一緒に捨てないでください。不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り絶縁してから、個別回収に出されるか、販売店等にお引渡しください。
- ・ 電池パックを交換する場合には、お買い上げの販売店等へ依頼してください。お客様自身で交換されますと、手を挟む等けがをする恐れがあります。
- ・ 子機に対して無理に荷重をかけないでください。無理に荷重をかけますと電池フタが外れ、けがをする恐れがあります。

～ 目次 ～

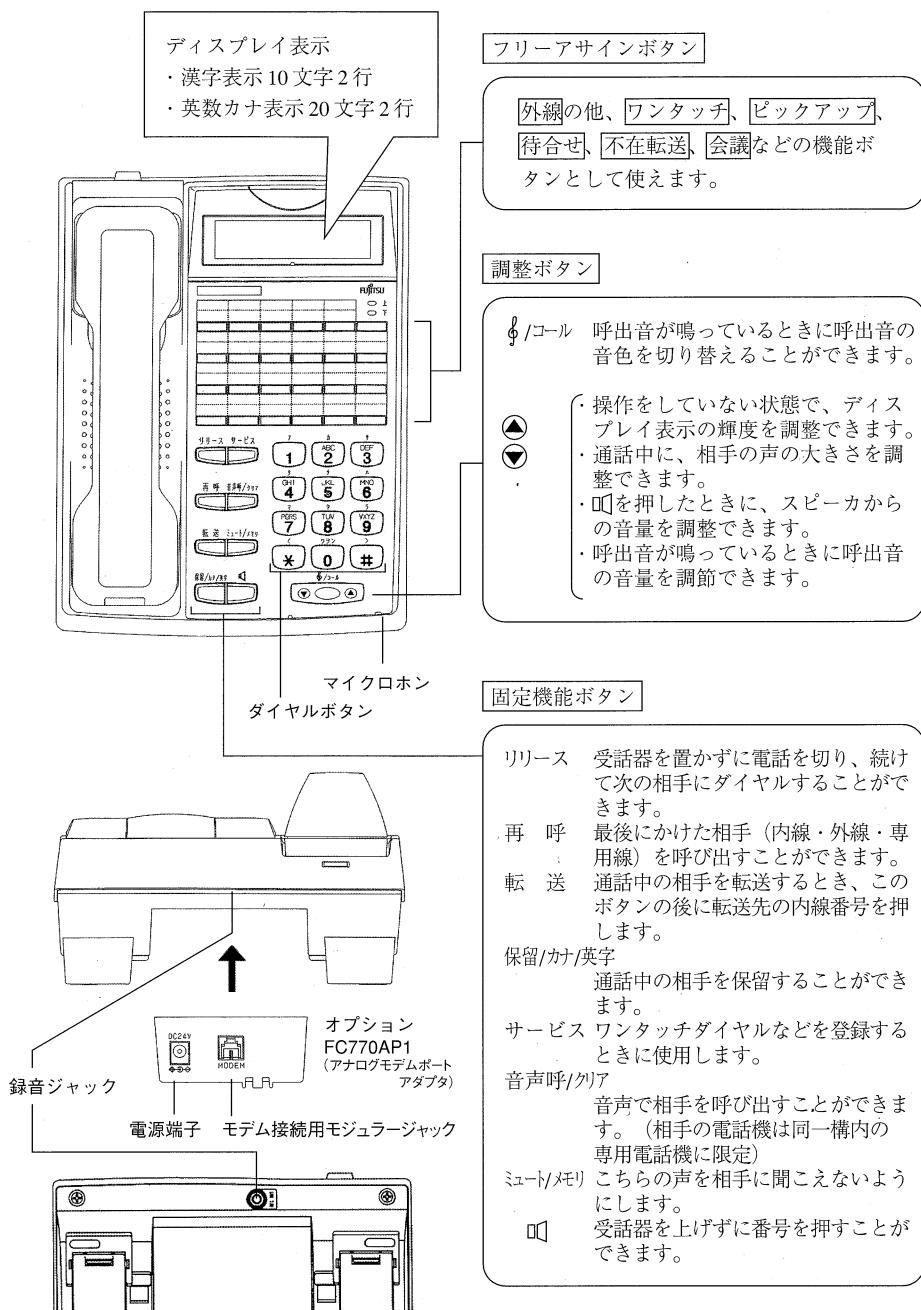
付属品一覧表	3
本書について	3
警告表示について	3
安全上の注意事項	4
 目次	 9
 E-200 系用電話機の外観図及び各ボタンの説明	 10
ES3300 系用電話機の外観図及び各ボタンの説明	11
カールコードレスD-station 12BC の外観図及び各ボタンの説明 ...	12
カールコードレスD-station 12BC について	13
 操作のしかた	
電話をかける	16
簡単にダイヤルするとき	16
長い電話番号も短い操作で	17
相手が話し中のとき	17
電話に応答します	18
通話中の相手を保留又は転送します	18
通話中の操作	19
ワンタッチでダイヤルを登録するとき	20
短縮ダイヤルを登録するとき	22
短縮ダイヤルを使ってかけるとき	23
呼出音の音色を切り替えるとき	24
電子電話帳の操作	25
 電話機の種類	 31
保証書	32

〈E-200 系用電話機の外観図及び各ボタンの説明〉



※E-200系用：E-200シリーズISS全機種、E-210、E-100シリーズISS全機種、DHシリーズ

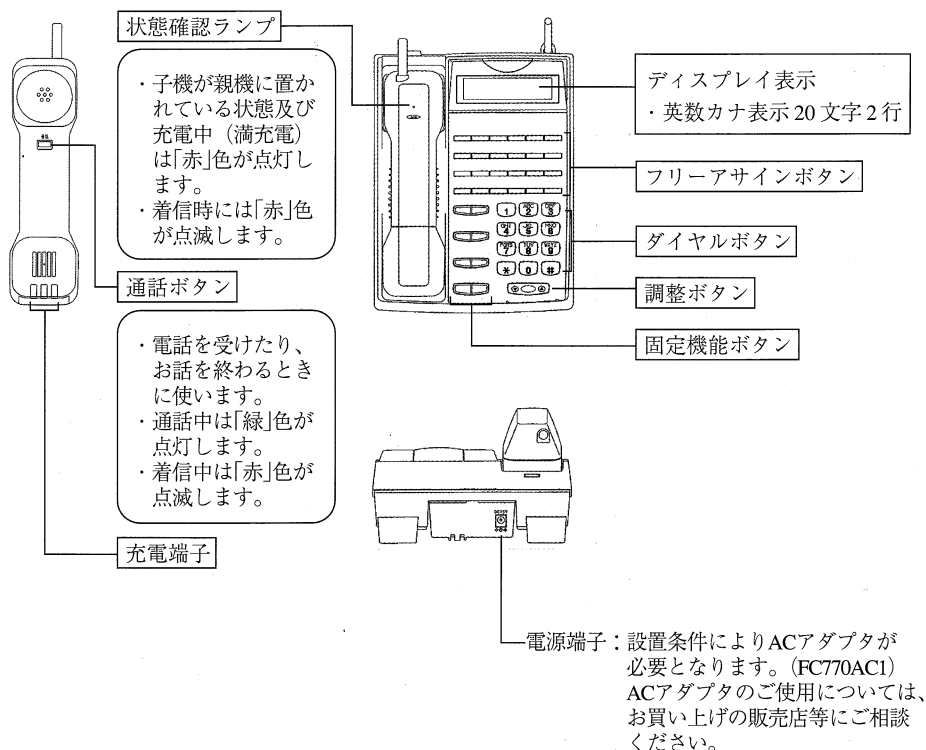
〈ES3300 系用電話機の外觀図及び各ボタンの説明〉



※ES3300系用：ES3300 i-force全機種、E-3200シリーズISS全機種、E-350、E-3100シリーズISS全機種、E-3900シリーズCCS全機種、E-390

<カードコードレス D-station 12BC の外観図及び各ボタンの説明>

※フリーアサインボタン、調整ボタン、固定機能ボタンについては、P.10～P.11 をご覧ください。



●子機ランプ機能一覧

項	ランプ状態 ランプ名称	消灯時	赤色		緑色
			点滅	点灯	点灯
1	通話（着信兼用）	待機中	着信中		通話中
2	状態確認	待機中	着信中		

※子機の着信について

- 子機が親機から外れている場合のみ、親機に同期し鳴動します。
- 着信音量切替はありません。

※内線番号表示ラベルについて

カードコードレスD-station12BCには、親機・子機の組み合わせを分かりやすくするために内線番号表示ラベルを添付しています。内線番号表示ラベルに内線番号等を記入し、適当な場所に貼ってお使い頂くことをおすすめします。

カールコードレス D-station 12BC について

傍受の可能性について

カールコードレス D-station 12BC で採用した盗聴防止機能は、音声を特殊加工して電波を送信することによって傍受による通話内容の漏洩を防ぐものですが、第三者が悪意をもって特殊手段を講じた場合には、盗聴を完全に防ぐものではありません。

このような場合は他の D-station 10 シリーズのご使用をおすすめします。

通話できる範囲

通常、見通し距離が約 80m まで親機から離れた地点で通話することができますが、周囲の障害物などの影響によっては 80m より大幅に短くなることがあります。また親機と子機の上に金属やコンクリートの壁などがあると通話出来ない場合があります。その場合には、子機の向きや、お話している場所を変えることによって改善される場合があります。

電波雑音について

パソコン、ワープロ、ファクシミリ、ビジネスホン、CB 無線、アマチュア無線、インバータ式蛍光灯などは雑音電波を発生します。

また、車の交通量が激しい道路に近い場所は電波雑音が多いので、これらの近くでのご使用は避けてください。雑音が入ったときには、子機の向きや、お話している場所を変えることによって改善される場合があります。

「ピピピピッ」と圏外アラーム音が鳴ったら

通話中に親機から離れ過ぎると「ピピピピッ」と圏外アラーム音が鳴ります。親機に向かって近づいてください。約 10 秒以上鳴り続けると電話が切れてしまいます。

また、待受状態時に子機が圏外にあった場合には、着信があっても子機は鳴りません。親機が見える範囲にてご使用ください。

設置について

下記の様な環境状態では通話距離が大幅に短くなったり、発信や着信の動作が困難になる場合があります。あらかじめ通話範囲を確認の上ご使用ください。

- ①周囲にロッカーや鉄製の扉などがあると、カールコードレスとしての性能が十分に得られない場合があります。
 - ②親機と子機の距離が近い場所でも、周囲の電波雑音や反射の状態によってはノイズが大きくなったり、通話ができない場合があります。
 - ③複数のカールコードレス（他社製品含む）を近接して設置するとお互いに電波の影響を受け、同時使用できない場合があります。（親機どうしを約 1m 以上離してください。）
- システムアナログコードレス／一般家庭用アナログコードレス電話との混在使用は極力おやめください。

オフスタンド時の着信について

子機が親機から離れている時に着信があった場合、電波状態によっては子機の着信音が鳴らない場合があります。この時、親機の着信音は鳴っていますので親機のそばにいる方はピックアップ等の代理応答での運用をしてください。

通話時の混信について

カールコードレス D-station 12BC は電波を使用しているため、まれに混信することがあります。混信した場合には、一度子機を親機へ戻してから再度子機を取り上げてご使用してください。

クイック通話、オンベース終話について

●子機を親機から取り上げるだけで操作できます。

※子機を親機から取り上げた時に“ピーッピーッピーッ”と音が鳴った場合には、子機の通話ボタンを押してください。もし、子機の通話ボタンを押下しても“ピーッピーッピーッ”と音が鳴った場合には電波の状態が良くありませんのでしばらくしてからお使いください。

●通話終話後、子機の通話ボタンを押さずに親機へ戻すだけで通話が切れます。

その他

●親機のアンテナはいつも立ててご使用ください。立てないと十分な性能が得られません。

●通話中、子機のアンテナに手などが触れますと雑音が入る場合があります。

●親機から離れたところ（圏外付近）などで通話すると雑音が入る場合があります。電波状態の良いところで通話してください。

●電波を使用しているため、電話をかけたり受けたりするのに多少時間がかかります。

●子機を使用して電話をかける場合には、必ず発信音を聞いてからダイヤルをしてください。誤接続の原因となります。

●相手より先に電話を切ると「ビュッ」という音が相手に聞こえてしまいます。相手が切ったことを確かめてから切ることをおすすめします。

●その他電話機の操作方法については、操作のしかた（p.16～p.27）をご覧ください。

●本電話機を接続の場合は、着信音“あり”の設定をお薦めします。

アラーム音について

鳴り方	状 態
ビッピッピッ	圏外アラームです。通話中に親機から離れすぎているので親機に近づいてください。10秒間鳴り続けると通話が切れます。
ピーッピーッピーッ	電波の状態が良くありませんのでしばらくしてからお使いください。
ピーッ	子機の電池パックの容量が残り少なくなっています。子機を親機へ戻し、充電してください。
ビッピ	子機を別の親機へ置いた場合に鳴ります。元の親機へ戻してください。

停電について

●センター給電及びローカル給電（ACアダプタ使用時）共に停電時は使用できません。

充電のしかた

●子機を親機に確実に置いてください。子機の状態確認ランプが点灯（赤）します。

●はじめてお使いになるときは、約12時間以上充電してください。すぐに使用すると、通話が切れる場合があります。

●充電端子は、いつもきれいにしておいてください。汚れていると、充電できないことがあります。汚れたら綿棒などを使って、ふき取ってください。

●「ピーッ」とアラームが鳴ったときは、子機を親機に戻して充電してください。

●充電時間：約12時間、待受状態：約90時間、連続通話：約5時間

使用上の注意

●本電話機の子機は充電が必要です。充電が切れた場合には通話不能となります。お使いにならないときは必ず親機に戻し、充電してください。

●子機（受話器）に内蔵している電池パックは通常2年間使用できますが、使用条件によって寿命が変わります。長時間充電してもすぐ充電容量がなくなる場合は新しい電池パック（オプション）と交換してください。

●電池パックを交換する場合には、お買い上げの販売店等へ依頼してください。

電池パックの接続のしかた<子機>

- ① 電池フタを下に押しながら、矢印の方向にはずします。

(注) 電池フタは容易にはずれないよう固くしてあります。電池フタをはずす際にはけがなどをしないようご注意ください。

- ② 電池パックのコネクタを差し込みます。

- ③ 電池フタを取り付けます。

(注) 電池フタを取り付ける際には、手を挟まないようご注意ください。

電池フタがきちんと取り付けられていることを確認してください。

- 電池パックの寿命は約2年です。

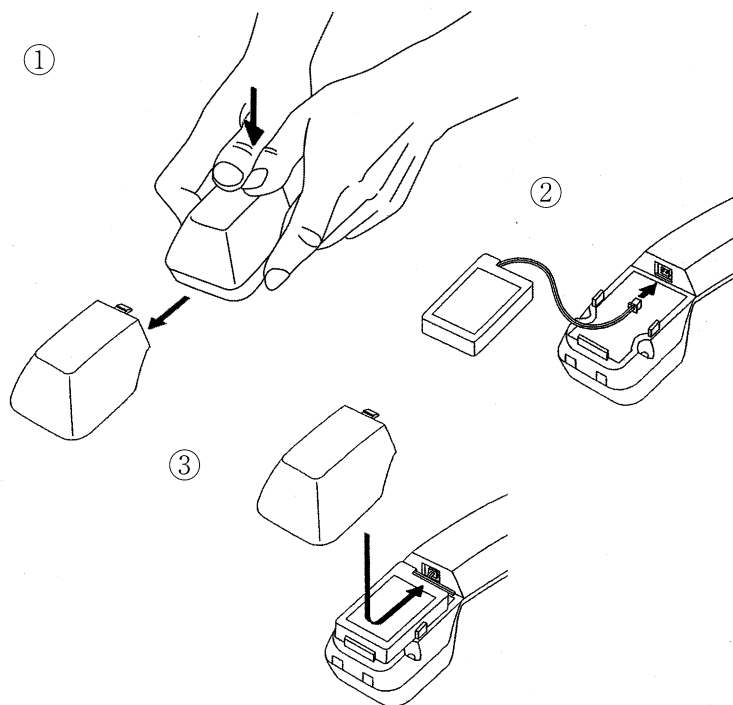
- はじめてお使いになるときは、約12時間以上充電してください。すぐに使用すると、通話が切れる場合があります。

(注) 子機を親機へ置いた後、電池が空の場合には充電ランプが点灯(赤)するまで数分かかります。数分後“ピーッ”と音が鳴り、状態確認ランプが点灯(赤)すると充電が開始します。必ず約12時間以上充電してください。すぐに使用すると、通話が切れる場合があります。

(注) 電池パックをコネクタへ差し込むと“ピーッ”と音が鳴る場合がありますが誤動作ではありません。

(注) 子機を親機に置いた状態でモジュージャックを抜いた時に“ピーッピーッピーッ”と音が鳴りますが誤動作ではありません。

- 電池パックのコードの収納は電池フタと子機にはさまない様にご注意ください。



操作のしかた

※ご使用の電話機がE-200系用かES3300系用かで操作方法が異なります。

P.10～P.12をご確認の上、ご使用してください。

記号の意味



：受話器を上げます。



：受話器を戻します。



：ボタンを押します。

5

：番号を押します。(例：個別短縮発信特番)

(この番号をサービス特番といいます)

< >：電話機の状態を表します。

電話をかける

内線へかけるとき (例：2001)

相手番号をダイヤルします。



<発信音> 2001 <呼出音> <通話中>

外線へかけるとき (例：03-1234-5678

外線発信特番0)

① (特番) と相手番号をダイヤルします。



<発信音> 0 <局の発信音> 0312345678

<呼出音> <通話中>

②直接発信するとき (外線ボタンがある場合)

外線を押して、相手番号をダイヤルします。



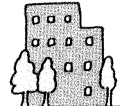
<発信音> 外線 <局の発信音> 0312345678

<呼出音> <通話中>

専用線へかけるとき (例：専用線番号711

内線3201)

専用線番号と相手番号をダイヤルします。

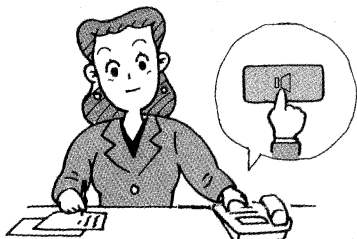


<発信音> 711 3201 <呼出音> <通話中>

簡単にダイヤルするとき

受話器を上げずにかけるとき (例：2001)

スピーカボタンを押してからダイヤルします。



<発信音> 2001 <呼出音>



<通話中>

もう一度同じ相手にかけるとき

再呼

を押すと、最後にかけた相手にかけられます。



<発信音> 再呼 <呼出音> <通話中>

音声で呼出すとき (例：2001)

相手番号と音声呼を押すと、音声で呼べます。



<発信音> 2001 <呼出音> 音声呼 <音声呼出>

長い電話番号も短い操作で

短縮ダイヤルを使うとき

(例：短縮発信特番 5、短縮番号 3)

- ①個別短縮ダイヤル (E-200系)
可変短縮ダイヤル (ES3300系)
(電話機毎に自由に短縮ダイヤルを登録できます。)
(特番)と短縮番号をダイヤルします。



☎ <発信音> 5 3 <呼出音> <通話中>

- 登録するときは、この後の“短縮ダイヤルを登録するとき”を参照してください。

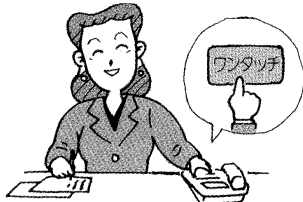
- ②共通短縮ダイヤル (E-200系)
固定短縮ダイヤル (ES3300系)
(例：短縮発信特番 6、短縮番号 23)
(特番)と短縮番号をダイヤルします。

☎ <発信音> 6 23 <呼出音> <通話中>

- 登録・変更は電話機からはできません。

ワンタッチで相手を呼出すとき

ワンタッチを押すだけです。



ワンタッチ <呼出音> <相手応答> ☎ <通話中>

- 登録するとき(例:03-1234-5678外線発信特番 0)

☎ 1807 ワンタッチ 0 0312345678 ワンタッチ
<確認音> ☎ (E-200系)

サービス (上下) ワンタッチ 0 0312345678

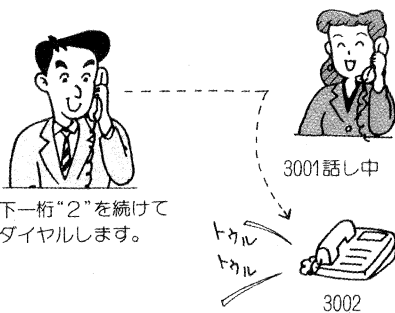
サービス (ES3300系)

相手が話し中のとき

別の内線を呼出すとき

(例：3001が話し中で、3002へ変更)

3001へダイヤルします。



☎ <発信音> 3001 <話中音> 2 <3002の呼出音>
<通話中>

相手の通話が終了するまで待つとき

(例：4001が話し中)

- ①待合せを登録するとき待合せを押します。



☎ <発信音> 4001 <話中音> 待合せ <確認音> ☎

↓相手が空きます。

<呼返し> ☎ <呼出音> <通話中>

- ②待合せ登録を解除するとき

☎ <発信音> 待合せ <確認音> ☎

電話に応答します

自分の電話機が鳴っているとき
受話器をあげて応答します。



☎ <通話中>

内線と局線のどちらにも着信がある場合に受話器をあげると、先に着信した方に応答します。どちらが先に着信したかは呼出音の違いでわかります。受話器をあげる前に**局線**または**内線**を押してから受話器をあげると、その着信に応答できます。

他の電話が鳴っているとき

(同一ピックアップグループ内のとき)

ピックアップを押して、応答します。



☎ **ピックアップ** <通話中>

局線表示盤に着信したとき

局線表示盤のランプが点滅 (着信表示) したとき。

応答を押して、応答します。



<着信表示> ☎ **応答** <通話中>

通話中の相手を保留又は転送します

遠くの人に転送するとき (例: 3001へ転送)

転送を押して、転送先内線番号をダイヤルします。



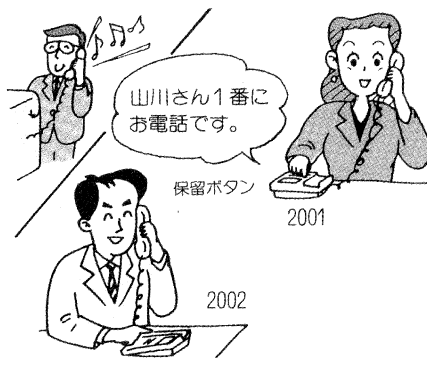
<通話中> **転送** <発信音> 3001 <呼出音>

<応答後> ☎

近くの人に転送するとき (例: 2001から転送)

保留を押してグループ内の相手に口頭で自分の電話番号の下1桁の数字を知らせます。

(E-3200シリーズISS)



●転送するとき

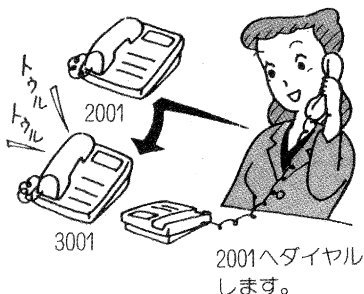
<通話中> **保留** <1番を伝える> ☎

●保留中の相手と話すとき

☎ **保留応答** (赤色点滅しているボタン) <通話中>

通話中の操作

他の電話機に自動的に転送させるとき
(例：3001へ転送)
席を離れるときなどに、登録しておきます。



●登録するとき

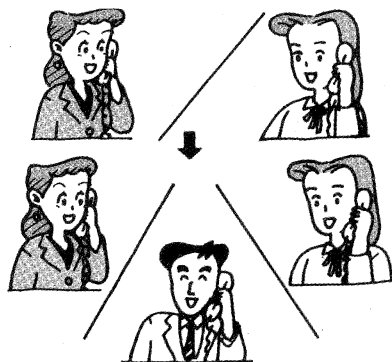
☎ <発信音> **不在転送** 3001 <確認音> ☎
(転送先番号)

●解除するとき

☎ <発信音> **不在転送** <確認音> ☎

三人で話すとき (例：2002を参加)

通話中に**会議** 2002 とダイヤルします。
応答があったら、再び**会議**を押します。



<通話中> **会議** 2002 <呼出音>

<三人目の相手と通話中> **会議** <三者通話中>

自己保留するとき

話し中に調べものや探しものをするとき、
保留 を2回押し、受話器をおきます。
保留中に受話器をあげると再び通話ができます。



<通話中> **保留** **保留** ☎ ☎
保留中

内線 <通話中>

通話中の相手に割り込むとき

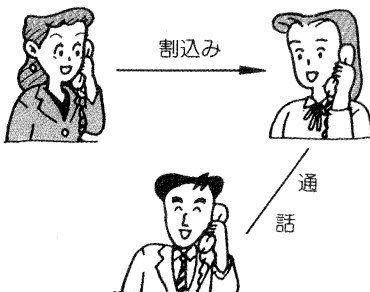
(例：2001へ割り込み)

割り込み を押して、相手に知らせます。

(E-200系)

話中呼 を押して、相手に知らせます。

(ES3300系)



☎ <発信音> 2001 <話中音> **割り込み**

<相手へ割り込音送出中> <通話中>

(E-200系)

☎ <発信音> 2001 <話中音> **話中呼**

<相手へ割り込音送出中> <通話中>

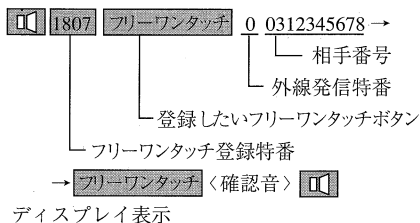
(ES3300系)

ワンタッチでダイヤルを登録するとき

ボタンごとに、外線の相手番号や特番、内線番号、短縮番号を登録できます。ワンタッチで発信できるので便利です。

E-200系するとき(DHシリーズを除く)

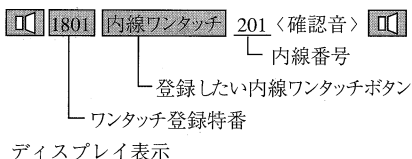
(1) 外線の相手番号、または特番の登録 〈フリーワンタッチ発信〉



0312345678 完了

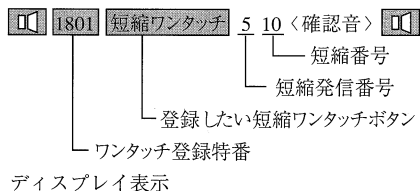
★ [外線発信特番+相手番号] の他に特番を登録することができます。

(2) 内線番号の登録 〈内線ワンタッチ発信〉



201 完了

(3) 短縮番号の登録 〈短縮ワンタッチ発信〉



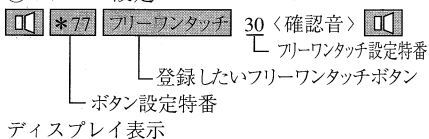
510 完了

DHシリーズのとき

(1) 外線の相手番号、または特番の登録 〈フリーワンタッチ発信〉

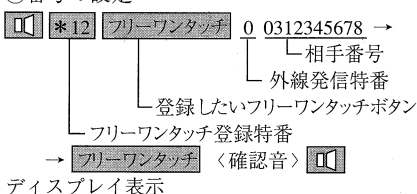
登録には「ボタンの設定」と「番号の登録」操作が必要です。

① ボタンの設定



30 フリーワンタッチ
ボタン設定

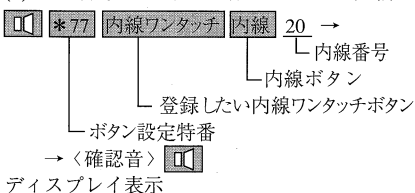
② 番号の設定



0312345678 完了
フリーワンタッチ

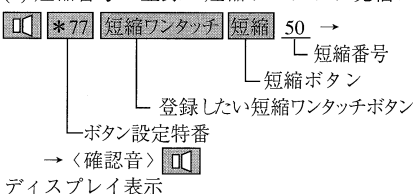
★ [外線発信特番+相手番号] の他に特番を登録することができます。

(2) 内線番号の登録〈内線ワンタッチ発信〉



13 20 内線ワンタッチ
ボタン設定

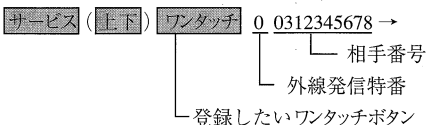
(3) 短縮番号の登録〈短縮ワンタッチ発信〉



14 50 短縮ワンタッチ
ボタン設定

ES3300系のとき

- (1) 外線の相手番号、または特番の登録
〈フリーワンタッチ発信〉



→ サービス
ディスプレイ表示

0312345678_
ワンタッチ登録

- ワンタッチボタン1個に2つの相手番号を登録
できます。(切替えは、上下で行います。)

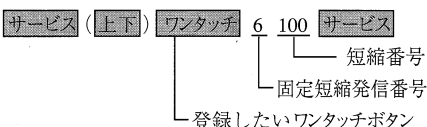
- (2) 内線番号の登録
〈内線ワンタッチ発信〉



ディスプレイ表示

201_
ワンタッチ登録

- (3) 短縮番号の登録〈短縮ワンタッチ発信〉

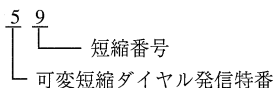


ディスプレイ表示

6100_
ワンタッチ登録

- 可変短縮番号を登録するとき

例) 5 2



ワンタッチダイヤルを使ってかけるとき

- E-200系

ワンタッチ 〈呼出音〉 〈通話〉

- ES3300系

〈上下〉 ワンタッチ 〈呼出音〉 〈通話中〉

又は

〈上下〉 ワンタッチ 〈呼出音〉 〈通話中〉

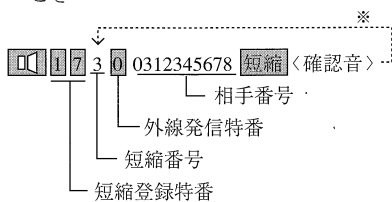
短縮ダイヤルを登録するとき



- (1) 個別短縮番号の登録
(各グループごと、あるいは電話機ごとに登録できます)

E-200系するとき (DHシリーズを除く)

- ・短縮番号「3」に03-1234-5678を登録するとき

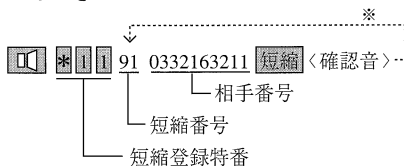


ディスプレイ表示

0312345678 完了

DHシリーズのとき

- ・短縮番号「91」に03-3216-3211を登録するとき

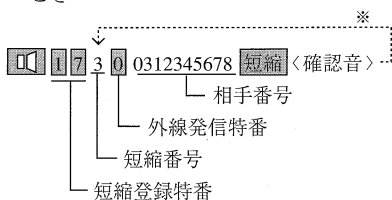


ディスプレイ表示

0332163211 完了
91 短縮

ES3300系 のとき

- ・短縮番号「3」に03-1234-5678を登録するとき



ディスプレイ表示

17300312345678

完了

- ※〈確認音〉の後に短縮番号から同じ手順で
続けて登録することができます。

- (2) 共通短縮番号の登録は電話機ごとにはできません。
変更や新しく登録するときは、システム管理者のかたにお知らせください。

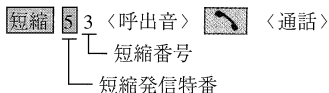
短縮ダイヤルを使ってかけるとき

(1) 個別短縮ダイヤル

(各グループごと、あるいは電話機ごとに使える短縮番号です)

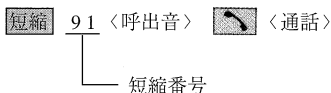
E-200系するとき(DHシリーズを除く)

- ・短縮番号「3」に03-1234-5678が登録されているとき。



DHシリーズのとき

- ・短縮番号「91」に03-1234-5678が登録されているとき。

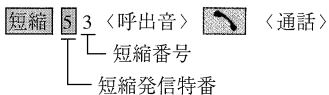


ディスプレイ表示

0312345678	10円
	00:05

ES3300系のとき

- ・短縮番号「3」に03-1234-5678が登録されているとき。



ディスプレイ表示

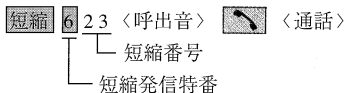
00312345678	10円
	00:00:05

(2) 共通短縮ダイヤル

(どの電話機からでも使えるシステム共通の短縮番号です)

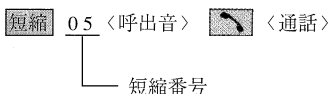
E-200系するとき(DHシリーズを除く)

- ・短縮番号「23」に03-1234-5678が登録されているとき。



DHシリーズのとき

- ・短縮番号「05」に03-1234-5678が登録されているとき。

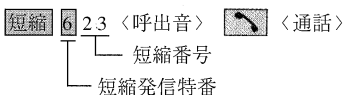


ディスプレイ表示

0312345678	10円
	00:05

ES3300系のとき

- ・短縮番号「23」に03-1234-5678が登録されているとき。



ディスプレイ表示

00312345678	10円
	00:00:05

《呼出音の音色切り替え方法について》

以下の場合において呼出音の音色が上手く切り替えられない場合があります。

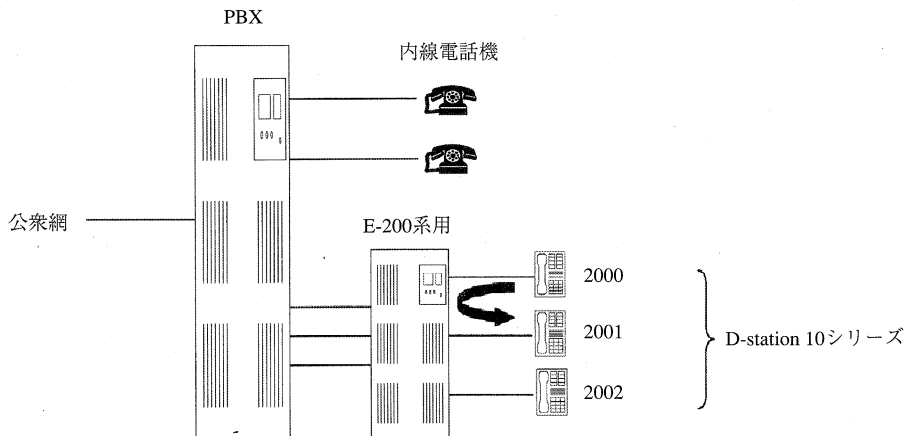
- ・システム構成として下記に示すE-200系*1を他PBXの内線へ接続（セクションマシン使用）する場合

＜呼出音の音色切り替える場合には＞

E-200系用に接続されているD-station10シリーズ電話機間（内線相互間；例えば、内線番号2000から内線番号2001へ発信する。）にて音色を切り替えたい内線に着信させて♩ボタン（トーンボタン）を押下し、呼出音の音色切り替え操作をして頂くことをお勧めします。

上記方法以外の着信に対して♩ボタンを押下した場合、ディスプレイ表示が電子電話帳の画面（P.25 (1)①参照）に切り替わることがありますが、再度♩ボタンを押すことによりディスプレイ表示は元に戻ります。誤操作ではありませんのでご注意ください。

*1：E-200系用 ～E-200シリーズISS全機種、E-210、E-100シリーズISSシリーズ全機種
DHシリーズ



※システム構成が分からない場合には、お買い上げ頂いた販売店にお問い合わせください。

電子電話帳の操作

よく利用する電話番号を、名前と一緒に登録できます。

前もって登録しておく、少ないボタン操作で目的の電話番号を呼び出すことができて便利です。

登録件数は50件です。

※電子電話帳の操作は、受話器を置いた状態でのみ操作できます。

※電子電話帳モード中に電子電話帳以外のボタン（P.27参照）を押下すると電子電話帳モードから抜けてしまいますのでご注意ください。

※電子電話帳モード中に着信があった場合には、受話器を上げれば通話できます。（ハンズフリー付電話機の場合にはスピーカボタンを押下されても通話できます。）また、相手先番号を確認してから通話する場合には、一度電子電話帳モードから抜けると着信画面に切り替わります。（登録／修正画面の場合は、コールボタンを2回押下、発呼画面（電子電話帳表示画面）の場合は、コールボタンを1回押してください。）

※本機能は、本体装置のパッケージ版数によりご使用できない場合があります。お買い上げの販売店へご確認ください。

(1) 電子電話帳の登録方法

①コールボタンを押し（電子電話帳モードへ移行）、カナ／英字ボタンより入力モードを選びます。

- ・カナ入力モード：ディスプレイ上に「カナ」と表示され、カタカナ入力を行うことができます。
- ・英字入力モード：もう1回カナ／英字ボタンを押すと、「AL」と表示され、英字を入力することができます。
- ・数字入力モード：さらに、もう1回カナ／英字ボタンを押すと、「No」と表示され、数字を入力することができます。

②名前を入力します。

- ・お好みの入力モードにしたら、ダイヤルボタンで入力してください。
- ・文字は10文字まで入力できます。
- ・濁点半濁点も1文字として表示されます。
- ・名前の入力が終わったらメモリボタンを押します。名前を入力しない場合はそのままメモリボタンを押します。

③電話番号（外線の場合は、外線発信特番と電話番号）を入力します。

- ・押したボタンの数字は左下から順に表示されます。（最大30桁まで入力できます、31桁目からは受け付けません。）
- ・電話番号の入力が終わったらメモリボタンを押します。

これで電子電話帳1件分の登録が終了しました。コールボタンを2回押すと電子電話帳モードから解除されます。

続けて2件目以降を登録する場合には、カナ／英字ボタンより入力モードを選び②、③の操作を繰り返せば登録できます。

51件目を登録しようとした場合には、アラーム音（ビビビ）とともにメッセージが表示され電子電話帳モードから解除されます。この場合、すでに登録されている電子電話帳のなかで不要なものを削除した後、最初から電子電話帳の登録をやり直してください。

(2) 電子電話帳の発信方法

登録した電子電話帳を呼び出して電話をかけます。

(a) 名前の検索機能で呼び出します。

- ①コールボタンを押し（電子電話帳モードへ移行）、カナ／英字ボタンより入力モードを選びます。
- ②名前を入力します。（検索する名前はフルネームを入力しなくても構いません。）
- ③コールボタンを押します。（検索条件を満たす電子電話帳を表示します。）

・マボタンを押すと、検索条件を満たすもののみ、順番に表示されます。

・△ボタンを押すと、逆の順番で表示されます。

・検索条件を満たす電子電話帳が登録されてない場合には、アラーム音（ビビビ）とともにメッセージが表示され電子電話帳モードから解除されます。

カナ ナメ?

—

AL ナメ?

—

No ナメ?

—

カナ ナメ?

フジワラ

TEL No?

0123456789

トウロク カシヨウ ノリ XX

XX：残り登録可能数

アキ メモリ ナシ

カナ ナメ?

—

カナ ナメ?

フ

0123456789

フジワラ

ガイロウ データ ナシ

④目的の名前（電話番号）が表示されたら、受話器を上げるかまたはスピーカボタンを押します。

表示された電話番号へ電話がかかります。

⑤電子電話帳からの発信を取り止める場合には、再度コールボタンを押します。

※名前入力のない電子電話帳を検索する場合には、(b)スクロール機能にて検索してください。

(b)スクロール機能で呼び出します。

①コールボタンを1回押して、登録画面を開きます。

またはコールボタンを2回押して、電話帳表示画面を開きます。

②▽ボタンまたは△ボタンを押します。目的の名前・電話番号が表示されるまでボタンを押してください。

・検索順序は次の通りです。

- 1) 空白で始まるもの
- 2) カタカナ（50音順）
- 3) アルファベット順（大文字が優先）
- 4) 数字
- 5) 名前入力なし（電話番号のみ）

③目的の電話番号が表示されたら、受話器を上げるかまたはスピーカボタンを押します。

表示された電話番号へ電話がかかります。

④目的の電話番号が表示された状態で電子電話帳からの発信を取り止める場合には、再度コールボタンを押します。

(3) 電子電話帳の修正方法

①修正する電子電話帳を表示させます。

名前の検索、スクロールの検索のいずれかの検索方法で、修正する電子電話帳を表示させます。

②カナ／英字ボタンを押します。（名前を修正します。）

③#(>)ボタンまたは*(<)ボタンを押して、カーソルを訂正する文字に合わせます。

④訂正する文字を入力します。

- ・不要な文字を削除する場合は、削除する文字の1つ右にカーソルを移動させ、クリアボタンを押すと文字が1文字消えます。また、クリアボタンを約2秒押し続けると全ての文字が消えます。
- ・名前の訂正が終わったらメモリボタンを押します。名前を修正しない場合にはそのままメモリボタンを押します。

⑤正しい電話番号を入力します。

- ・クリアボタンを押して訂正する電話番号の数字までを消します。
- ・クリアボタンを約2秒押し続けると全ての数字が消えます。
- ・電話番号の入力が終わったらメモリボタンを押します。電話番号を修正しない場合にはそのままメモリボタンを押します。
- ・自動的に元のメモリ番号に修正されて登録されます。

(4) 電子電話帳の削除方法

登録してある電子電話帳を削除します。

①削除する電子電話帳を表示します。

名前の検索、スクロールの検索のいずれかの検索方法で、削除する電子電話帳を表示させます。

②メモリボタン、クリアボタンの順に押します。

表示されたデータを削除するかどうかのメッセージが表示されます。

③削除する場合はダイヤルボタン1を押します。

削除したことをお知らせします。

④削除しない場合はダイヤルボタン0を押します。

削除を中止したことをお知らせします。

カナ ナマエ?

—

0123456789

フジツク

0123456789

フジツク

カナ ナマエ?

フジツク

TEL No?

0123456789

トウロク カンリョウ ノコリ XX

XX：残り登録可能数

0123456789

フジツク

データサクン? YES-1/NO-0

サクン? カンリョウ

サクン? チュウシ

(5) 電子電話帳で使用する各ボタンの割り当て文字

ダイヤルボタンで入力できる文字は、ボタンを押すごとに以下のように変ります。

例) 「ウ」を入力するには、「カナ」入力モードにしてダイヤルボタン1を3回押します。

「B」を入力するには、「英字」入力モードにしてダイヤルボタン2を2回押します。

モード ボタン	カタカナ	英 字	数 字
1	ア・イ・ウ・エ・オ・ア・イ・ウ・エ・オ		1
2	カ・キ・ク・ケ・コ	A・B・C・a・b・c	2
3	サ・シ・ス・セ・ソ	D・E・F・d・e・f	3
4	タ・チ・ツ・テ・ト・ッ	G・H・I・g・h・i	4
5	ナ・ニ・ヌ・ネ・ノ	J・K・L・j・k・l	5
6	ハ・ヒ・フ・ヘ・ホ	M・N・O・m・n・o	6
7	マ・ミ・ム・メ・モ	P・Q・R・S・p・q・r・s	7
8	ヤ・ユ・ヨ・ヤ・ユ・ヨ	T・U・V・t・u・v	8
9	ラ・リ・ル・レ・ロ	W・X・Y・Z・w・x・y・z	9
0	ワ・ヲ・ン・°・°・---・-・?・!・□	., ' --- : & / - () = ¥ # * - □	0
*	← (カーソルの左移動)		
#	→ (カーソルの右移動)		
コール	電子電話帳モード設定／解除		
カナ／英字	文字入力モード変換		
メモリ	電子電話帳データの登録決定		
クリア	2秒未満の押下：カーソルの左の文字を1文字削除 2秒以上の連続押下：入力文字全削除		

□：空白を示します。

※名前の入力例（「スズキ」と入力する場合）

①カナ／英字ボタンを押して、カナ入力モードにします。

カナ ナメ?
 _

②ダイヤル3を3回押します。

「ス」が表示されます。

カナ ナメ?
 ス

③# (>) ボタンを押します。

- ・続けて同じボタン上の文字を入力するときには、# (>) でカーソルを一つ右に移動させてください。
- ・次に入力する文字が、違うボタン上にあるときは、そのボタンを押すとカーソルは自動的に右に移動します。

カナ ナメ?
 ス_

④ダイヤル3を3回押します。

カナ ナメ?
 スス

⑤ダイヤル0を4回押します。

カナ ナメ?
 スス_

⑥ダイヤル2を2回押します。

カナ ナメ?
 スス主

⑦名前の入力が終わったらメモリボタンを押します。

これで名前の入力終了しました。

電子電話帳－登録一覧

電子電話帳へ登録した内容を一覧表にしておくくと便利です。

【1／2】

項	名 前	電 話 番 号
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

[illegible]

～メモ欄～

電話機の種類

○：機能アリ，×：機能ナシ，OP：オプション

機種 機能	D-station 11A	D-station 11B	D-station 11BP	D-station 12B	D-station 12BP	D-station 12C	D-station 12D	D-station 13D	D-station 12BC
E-200系用	○	○	○	○	○	○	○	－	○
ES3300系用 注1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
E-3900シリーズCCS, E-390	－	－	－	－	○	○	○	－	－
フリーサインボタン数 注2)	12	12	12	23/24	23/24	23/24	23/24	6	23/24
ディスプレイ表示	×	英数カナ	英数カナ	英数カナ	英数カナ	漢字	漢字	漢字	英数カナ
録音ジャック	×	○	○	○	○	○	○	○	○
ハンズフリー機能	×	×	×	×	×	×	○	○	×
アナログモデムポート アダプタ 注3)	×	OP	×	OP	×	OP	OP	OP	×
停電機能 注4)	×	×	○	×	○	×	×	×	×
チルトスタンド	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電子電話帳	×	○	○	○	○	○	○	○	○
着信ランプ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
壁掛け	○	○	○	○	○	○	○	○	×
カールコードレス	×	×	×	×	×	×	×	×	○

注1) E-3900シリーズCCS全機種，E-390を除く。

注2) 23ボタン数：E S 3300系用（上下切り替えボタン1つ除く為）

24ボタン数：E-200系用

注3) アナログモデムポートアダプタの条件はプッシュボタンを使って発信する発信専用です。

注4) 停電時には、**外線**へかける・**外線**に応答する以外の機能（ディスプレイ表示・内線通話など）は、はたらきません。

注 意

本製品は、海外為替及び外国貿易管理法が定める規制貨物に該当いたします。
本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE

This product which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。

お問い合わせ先

--

富士通株式会社

※製品改良のため仕様やデザインの一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

2000年3月 F10P-0852-S000/04